

# 見沼自然散策

2022.12.17

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



ジョウビタキ雄



ジョウビタキ雌



エナガ



アオジ



イヌシデの実

木々が葉を落としている季節は鳥を見るチャンス  
 ↑ジョウビタキは冬の間、オスもメスもそれぞれに縄張りを持つ  
 ←木の实や草の実の小鳥たちにとって大事な食糧  
 →葉が落ちると色づいた実が姿を見せる。カラフルな色は鳥たちへのアピール



カラスウリ



キカラスウリ



ウラギンシジミ

成虫越冬の昆虫たち  
 →キタテハは暖かい日には日向ぼっこしている。翅を閉じると枯れ葉にそっくり  
 →クビキリギスも成虫越冬  
 ←ウラギンシジミも藪などでじっと動かさず冬を過ごす



キタテハ



クビキリギス



オオバン

←オオバン。クイナの仲間、首を前後に振りながら泳ぐ。潜水もする  
 ↓→カモの多くはオスがきれいな羽。これはメスに選ばれるため◇メスは茶の濃淡なので見分けにくい、オスのそばにいるカモが頭部やくちばしの形が同じなら同種。



オナガガモ雄



オナガガモ雄



ヒドリガモ水浴び



尾脂線から油を塗る

**羽の手入れ**  
 ←←朝ごはんが終われば翅の手入れ。まず羽を大きく動かして汚れや虫を落とすその後、尾脂線から出る油を塗り付け羽の撥水加工羽の間に空気をためて浮力を得る  
 →夏の間、田んぼなどで子育てしていたカルガモも池や川に集まる



カルガモ